

人生は
どこへ
行く
？



めた:めた:

恋愛も執筆も、すべてに行き詰ってしまった小説家・荒木
八方塞がりな男の目を通して今を生きる人々を描き出すメタファンタジー“私”映画



新井秀幸 和座彩 錫木うり 橋本つむぎ 柳谷一成 金谷真由美 池内明世 野呂健一 鍛代良 久保田翔

監督=鈴木宏術 脚本=新井秀幸 撮影=近藤康太郎 助監督=森田結子 録音=大城義弘/田中健太/村田峻平/田頭平蔵 整音=落合諒磨
音楽=入江陽/光由/井山実莉/Yohey Comeon 宣伝美術=坂田科申 宣伝美術協力=中村友則 スチール撮影=松井綾音 HP制作=ガブリシャス本田 英語字幕=富永華衣
配給・宣伝協力=細谷隆広 企画・製作=マーブルダンス/新井秀幸/鈴木宏術 2022年/日本/72分/カラー



小説家を巡る3つの人生の混沌と展望 可笑しくて、ちょっぴり切ない人間賛歌!!!

かつては注目されていた小説家の荒木は、知り合いの女性と飲みに行ったり、日々題材を探して街を歩いていた。ある日帰宅すると別れた筈の恋人が現れて、うんざりした荒木は部屋を出て行く。

そんな荒木を他所に地球はいつも通りに回っている。妹の就職祝いのため、久方ぶりに帰省するつくしとその彼氏。母とは喧嘩別れして以来の再会であったが、思わぬ来訪者が現れる。仲睦まじい夫婦の真二と陽子は妊活を始めると、ある事実が発覚する。真二は真相を確かめようと、故郷である宇和島へ旅立とうとする。

その頃、決意を新たにした荒木は執筆を続けていくが、自身の現状を反映したかのように小説もまたこんがらがり、停滞していくのであった……



「別れるって言って出たじゃん。なんで勝手に出てきたの?」

「どのくらいあなたの事を心配してたと思ってるのよ、わかってるの?」

「なんで絶望? は!? 希望しか見えねよ」

ウディ・アレンの饒舌とペース、ホン・サンスの会話劇の妙を現代日本の舞台に置き換え、軽妙洒脱に描く、ちょっと困った人たちの奮闘劇。情報が錯綜し、様々な価値観に翻弄される今という時代。私たちは人生で立ち止まり、時に悩み、時に邁進する。怒りを込めて振り返ることなかれ—— 迷わず行けよ。行けばわかるさ。イチ、ニッ、サン!!!

『Noise』(松本優作監督) 出演、『鈴木さん』(佐々木想監督) 照明部など様々な角度から映画に携わってきた鈴木宏信監督の長編デビュー作。今作が初脚本となる主演の新井秀幸と共に企画し、従来の映画製作の枠に捉われない自由で実験的なスタイルで映画を完成させた。出演は『FIT』(廣末哲万監督)、『Poltergeist』(山西竜矢監督)の新井秀幸、『まっばだか』(安楽涼・片山享監督)の柳谷一成、『夜明けの夫婦』(山内ケンジ監督)の金谷真由美、『ラーゲリより愛を込めて』(瀬々敬久監督)の鍛代良、『よく見れば星』(森美春監督)の橋本つむぎを始め、次世代の日本映画界を担う個性溢れる顔触れが結集した。

俳優たちは覚えたセリフではなく、その場の反応で対話をしている。極めてリアルである。それだけじゃない。めためたな恋愛劇のリアルがメタなのだ。面白かったです。

山内ケンジ(城山羊の会・映画監督)

相田冬二(Bleu et Rose/映画批評家)

修羅場でダンスする。修羅場がダンスする。ダンス・ダンス・ダンス。映画進化のトランスフォーメーション!!!



めためた

出演=新井秀幸、相田冬二、鈴木うり、橋本つむぎ、柳谷一成、金谷真由美、池内明世、野呂健一、鍛代良、久保田剛、萩原正道、大城真弘、河北幸吾、石田健太
監督=鈴木宏信 脚本=新井秀幸 撮影=近藤康太郎 助監督=森田結以子 録音=大城真弘、田中健太、村田峻平、田原平蔵 監修=落合謙吉
音楽=入江暁、光由、井山真莉、Yohey Comeon 宣伝美術=坂田科幸 宣伝美術協力=中村友則 ステール撮影=松井絵音 HP制作=ガブリヤス本田
英語字幕=宮永華衣 配給=宣伝協力=総合映画 企画・制作=マーブルダンス、新井秀幸、鈴木宏信 2022年/日本/72分/カラー

2023年11月
めためたロードショー

全国共通特別鑑賞券
1,400円(税込) 発売中
一般 1,800円/大学・専門学校生 1,400円
会員・シニア 1,200円

ユーロスペース
EUROSPACE
03(3461)0211 eurospace.co.jp

